

ソメイヨシノ

新年度が始まり新しい顔ぶれを院内で見かける。組織の新陳代謝が躍動感を与えてくれる。一斉に咲いた桜は美しく、その若葉が目にしみる季節となった。ソメイヨシノ(染井吉野)はエドヒガンとオオシマザクラの交配で生まれた品種で江戸末期から明治初期に江戸の染井村で育成された。一代雑種であり純粋な子孫はありえないという。自ら増えることのないソメイヨシノは接ぎ木などにより人間の手によって広まった。ソメイヨシノはクローンであり、一斉に咲き、一斉に散るのはそのためである。日本人が好む理由の源がここにある様にも思える。良き面もあり、悪しき面もあり。